

厚岸小学校4年生の総合学習から



「僕達を選んだ十景のお供え山にはオオハンゴンソウがたくさんある。花はきれいだけど、ほかの植物に害があるから、地域の人たちと一緒に駆除したい。どうしたらいいですか」

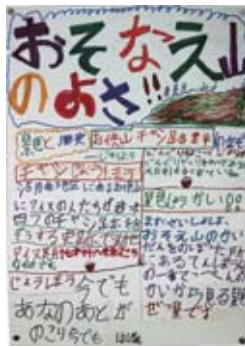
総合学習において厚岸小学校の4年生は、今年『新厚岸十景』の選定に取り組んでいます。昨年度までの総合学習は、細かな学習計画がなかったため、担任の先生に依存するところが大きいという問題点がありました。したが、今年度からは共通テーマを設定し、全校的に統一性をもたせ、4年間を通じた学習を行うことにしました。

地域を学習し
そして好きになり誇りに思う
そう学べる・感じられる
4年間をつくりたい

テーマは『地域』

総合学習は3年生から6年生まで行われ、学習指導要領では年間105時間の授業時間が標準とされています。厚岸小学校では、3年生は『歴史』、4年生は『十景』、5年生は『産業』、6年生は『人』について学習し、4年間の学習により、地域の一員としての自覚や誇りを高めていくことを目指しています。

4年生が取り組んでいる『新厚岸十景』では、児童自らが地域に向き地域の魅力を実感するとともに、自分たちが住んでいるこのまちのすばらしい場所を見いだすことにより、地域の良さを再認識することができ、それが地域の一員としての自覚を高めることを目標としています。



地域の協力も必要

新厚岸十景を選定した過程から、児童らには『厚岸はすばらしいまちで誇りに思う』という意識が芽生え、この選定した十景を

地域の皆さんに知ってもらいたい、たくさんの方が訪れても恥ずかしくないようにきれいにしたい、という意識につながりました。単に十景を選定するだけではなく、自分たちの思いを地域に伝え、地域を巻き込むためにはどうしたらいいか。児童たちは、試行錯誤しながら、自ら清掃活動を行い、宣伝活動に取り組んでいます。



小学校を訪れた12月初旬、児童たちは教室でPR用のポスターを一生懸命作っていました。また、岸壁などのゴミ拾いをするグループもあり、どの子も真剣なまなざしです。

厚岸神社周辺でゴミ拾いをしていたグループと会話をしたところ、『神明宮や最上徳内』などの言葉も含まれ、学習の深さも伺えました。

この4年生は、5年生になったら地域の産業について学習します。新厚岸十景の選定で学んだことを活かし、地域の産業を見て聞いて感じ取って欲しいものです。